

群馬県地域密着型サービス連絡協議会 役員会 議事録

開催日 平成28年 4月27日(水) 13時30分～		書記 佐塚		
開催場所 群馬県社会福祉総合センター 2F 202会議室				
出席者) 恩田 三俣 上野 高橋 伊藤 橋本 多胡 佐塚 松原 平川 櫻場 井上	東部) 秋草 鬼形 荒川 清水	西部) 新井 松村 飯塚 忌部 小池	南部) 阿久津 森田 荻野 竹内 佐藤	中北部) 金井 舛原 熊切 小島 内藤
検討事項	議事結果			
事務局場所について	・事務局同室内移転の件 認知症の人と家族の会が隣に入る。			
情報共有方法	・事務連絡はメールを中心にする。アドレスのない事業所には連協ホームページに掲載の旨を FAX 連絡。			
熊本被災地支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・GH めぐみの家から 2 名 (5/7～11、5/23～27 で各 1 名ずつ) 介護職員を派遣。福岡連協のコーディネートに従う。交通費は連協から出す。日用品などの準備と負担をどうするか。各自準備し、領収控えておき、あとで清算できるようにしておく。</li> <li>・支援金あつめ 福岡県 GH 協会を通じて、支援活動に当てる見込み。5/1 より募集開始。</li> </ul>			
役員交代の件	<p>西部ブロック長 新井退任の件</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・系列の藤和グループ三思会 原さん(桐生)が後任で入る。</li> <li>・ブロックが違うので編成は要検討とするが、西部ブロック長は忌部さんで確定し、西部ブロックと東部ブロックでそれぞれ調整する。</li> </ul>			
定期総会の準備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症デイ 49 事業所にも案内送付済</li> <li>・総会終了後に認知デイは会費を集める。</li> <li>・共用デイは GH 会員であれば自動入会で別途会費は不要。共用デイにその旨流す。</li> </ul> <p>未加入事業所</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全てに総会案内を流す(退会事業所も未入金事業所も)。加入率を重視するため。</li> <li>・過去の3年程度の入金状況をリスト化しておくこと今後の運用がしやすい。</li> <li>・加入率に関して言えば複数ユニットの会費設定については今後の課題。同一法人で事業所の多いところの上限設定も検討してはどうか。</li> </ul>			
総会当日について	<p>総当日について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会長より事業計画案を提示</li> <li>・書籍販売(東本願寺出版)は内藤が担当</li> <li>・講師 新前橋まで迎え送りは恩田会長、上野副会長</li> <li>・ブロック会議 ブロック長一任で時間内で計画報告する。意見交換は別途定例会議、懇親会等で時間を確保する。</li> <li>・役員駐車場は基本的に第3駐車場(夜閉まるかもしれないので注意)</li> <li>・音響係は CD 再生できるように事前に確認する。</li> </ul>			

送迎中の事故案件について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・注意喚起文章を流す。</li> <li>・送迎運転者講習（群馬県住民参加型在宅福祉サービス団体連絡会）で適性検査、その他講習を実施しているので活用すると良い。</li> </ul>
シニアワークプログラム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の雇用の受け皿になれるのであれば、連携する価値がある。</li> <li>・既に会員事業所で卒業生を雇用しているところがある。</li> <li>・まず東部ブロック（桐生）で受けてみる。</li> <li>・講師謝金は連協で受け取る。謝金設定は他事業（ウエルカム）とのすり合わせが必要ではないか。</li> </ul>
介護支援専門員の更新研修の講師派遣の件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県社協から下話が来ている。正式依頼があれば人選する。</li> </ul>
新任者研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定員50人</li> <li>・補助金は3万円の見込み（大幅に減額してきている）</li> <li>・今回は参加費無料とするが、補助金が減っているので今後有料になる旨を総会で報告する。</li> </ul>
ウエルカム講習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受講者に家族介護者が増えている。介護職創出が目的なので、家族介護者向けには別の企画をした方が良いのではないか。</li> <li>・シニアワークの方が就労としての効果は高い。</li> <li>・広報のやり方は要検討。</li> <li>・今年2回でやってみて効果を測定したい。</li> <li>・場所 前橋（新前橋福祉センター）、伊勢崎方面（文化会館？ホテル？）</li> </ul>
小規模多機能 GH 大会実行委員会の準備会議	<p>テーマ 夢と希望にあふれる仕事～介護という名のテーマパークへ～</p> <p>実行委員会の学校参加について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高崎健康福祉大 3名確定。</li> <li>・昌賢学園 5月打ち合せ予定。実行委員とボラの協力は短大、大学あり、専門もボラ数必要なら募集する。</li> <li>・みらい学園 ボラ、実行委員の応募は学校の指定の書式で提出する。ボランティア事務の担当がいらっしゃる。</li> </ul> <p>学生ボラ受入の反省点など</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学生のボラ募集数を提示する。</li> <li>・学生の役割を明確にする。</li> <li>・腕章を実行委員とボラで分ける。</li> <li>・当日事前の、ボランティアへの説明の時間、場所を確保する。</li> <li>・ボラ学生の対象は、福祉系を望むが他の学科も可とする。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生ボラの募集内容は学生実行委員と一緒に考える。</li> <li>・役員の役割を決め、各セクションの必要ボラ数と役割を計画する。</li> <li>・学生実行委員の当日の役割を明確にし、事前の会議で提示する。</li> <li>・学生担当役員は2～3人とする。</li> </ul> <p>協賛</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般会員からも協賛の募集に協力してもらうか。</li> <li>・ブース展示は協賛者に限定。協賛額の設定をきめる。</li> <li>・物販可とし、出版社にも来てもらう。</li> </ul> <p>講演</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ディズニーとは別に、介護職の元芸人に依頼する。</li> </ul> <p>参加費</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・抄録代としてではなく、2日間で参加費1000円とする。</li> <li>・学生は学生証提示で無料</li> </ul> <p>発表者表彰</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・代表者1名に渡す。</li> </ul> <p>弁当販売</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・やり方は前年と同じ。メニューは1日目と2日目を変えること。</li> </ul> <p>本格周知</p> <p>5/17から開始</p> <p>事例募集</p> <p>すぐに開始する。(遅くともGW明け早々)</p> <p>大会名</p> <p>今回は「小規模多機能・グループホーム大会」のままとする。</p>
グループホーム運営部	
小規模多機能運営部	
研修部	
広報担当	
中北部ブロック	
西部ブロック	
東部ブロック	
南部ブロック	